

## 標識車に一般車両が衝突（もらい事故）

### <事故概要>

- ・ 追越車線の規制解除中（テーパー解除中）に一般車両が標識車の左後方に衝突した。
- ・ 後方監視員が一般車両に黄色の旗で注意を促したが、一般車両は気付かずにノーブレーキで標識車に衝突した。
- ・ 後方監視員と作業員は退避し、怪我はなかった。

### <事故原因>

- ・ 一般車両のスピード超過による無理な追い越し及び前方不注意が原因であると考えられる。

### <対策案>

- ・ 監視員は常に走行車両を注視し、危険な場合は作業員と共に避難する。



事故現場写真



## 原付バイクがポットホールにはまる

### <事故概要>

- ・ 切削路面で交通開放していたところ、夜間の降雨の影響によりポットホールが発生した。
- ・ 原付バイクが、舗装版に出来ていたポットホールに気付かず走行した。
- ・ ポットホールにタイヤがはまりバウンドし、付属品の一部が損傷した。

### <事故原因>

- ・ 夕方からの降雨でポットホールが生じたと考えられる。

### <事故防止対策案>

- ・ 現場巡視を行い、路面状況を把握する。
- ・ ポットホールが発生した場合は、速やかに補修を行う。

ポットホール発生箇所 全景  
(仮復旧後)



事故現場写真



事故車両写真

事故現場写真



(裏面につづく)

# 測量業務のボーリング調査中に埋設管を破損



事故現場写真

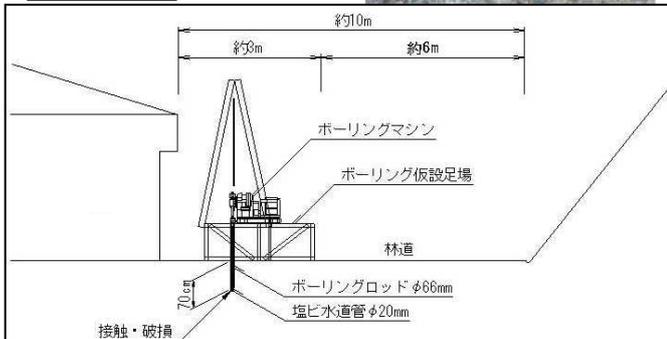
破損直後全景



事故現場写真

復旧作業状況

断面図



## <事故概要>

- ・林道における調査において、水道管理者に確認及び現地立会を求めず、また、埋設管の事前調査無しにボーリングを実施した。
- ・ボーリング掘進作業中、深さ約70cmのところで水道管（給水管φ20mm：塩ビ管）と接触し、破損。

## <事故原因>

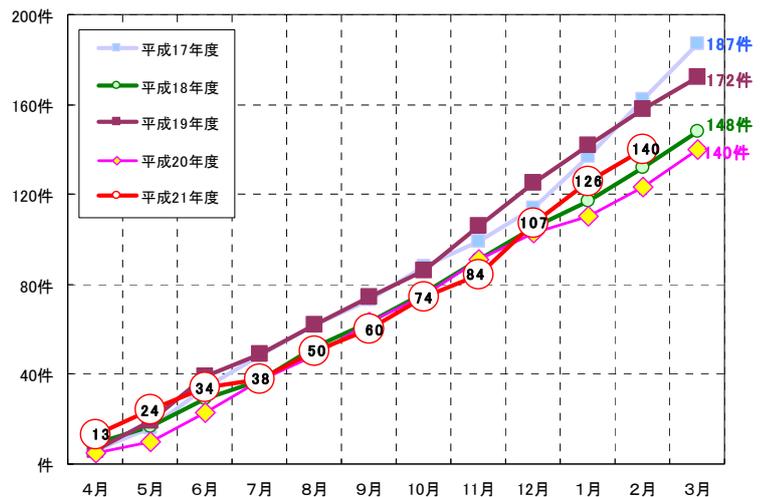
- ・平面図、用地図に水道管の記載がなかったことから、水道管の調査を行わなかった。

## <事故防止対策案>

- ・埋設物については、事前に台帳等で確認を行う。
- ・思い込みによって作業を進めず、関係各所と協議を行う。
- ・ボーリング実施にあたっては、必要に応じて試掘を行う等、埋設物の位置を確認し、掘進作業を進めるようにする。

# 平成21年度事故件数（2月末速報値）

- ・右のグラフは平成17年から平成21年度の事故発生件数（累計）を示している。（もらい事故を含まず、平成22年2月末現在の速報値）
- ・2月末現在で140件（もらい事故を含めると214件）発生している。
- ・昨年度と比較すると、事故件数が増加している。
- ・また、平成21年度は12月、1月に事故が多数発生している。
- ・死亡事故も4件（4人）発生している。



平成22年4月6日（火）から平成22年4月15日（木）までの10日間は、

## 平成22年春の交通安全運動期間

です。  
本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とするものです。また4月10日（土）は交通安全事故死ゼロを目指す日になっています。  
参考HP [http://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/undou/h22\\_haru/yoko.html](http://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/undou/h22_haru/yoko.html)（内閣府）

